



ほけんだより 12月号  
友田保育園

11月は、昼と夜の気温差が10度以上になる日もあり、夏から急に冬になったようで体調管理がとても難しくなった気がします。衣替えをいつしていいかわからない年が続いており、日本の四季も年々感じにくくなり少し寂しく思います。12月は「もちつき」や「クリスマス会」など冬らしいイベントが続きますね。楽しく過ごせますよう、健康管理には十分気をつけてお過ごしください。

＜11月の子どもたちの様子＞

インフルエンザ A 型4名、突発性発疹 1名、咽頭結膜熱（プール熱）1名の感染症がありました。気温の変化が大きかったためか、咳や鼻水が長引いたり、風邪による発熱がいつもより多かったです。また、一時的に下痢や嘔吐が増えた週もありました。空気が乾燥し始め、肌が乾燥しているお子さんも見受けられました。

＜12月の予定＞ 11日（月）乳児身体測定  
12日（火）幼児身体測定  
18日（月）乳児健診（14：30～）

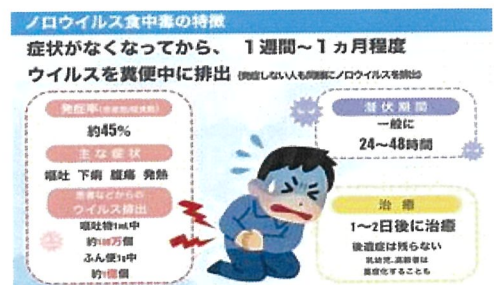
今後注意したい感染症

- ①咽頭結膜熱（プール熱）
- ②インフルエンザ
- ③ノロウイルス

①咽頭結膜熱（プール熱）：依然、全国的に流行しています。右の図の3つの症状がある場合は、医療機関を受診してからの登園をお願いします。（咽頭痛・結膜充血・発熱の3つの症状で診断されます。）

②インフルエンザ：『11月号ほけんだより』をご参照ください。患者数が、今シーズン最多となっております。

③ノロウイルス：ノロウイルスによる発熱は37℃～38℃ですが、重症化すると39℃発熱し脱水症状（排尿の回数が減る、尿が濃い、涙が出ない、口の中や唇、皮膚が乾燥しているなど）がおこります。水分が十分取れないような場合には、速やかに受診しましょう。



※胃腸炎（嘔吐や下痢のお腹の風邪）は、ノロウイルスの他にも様々なウイルスや細菌により発症します。保育園で嘔吐や下痢をした場合、全身状態や流行状況を見て、お迎えのご連絡を保護者をお願いしております。また、感染拡大防止の観点から汚物はそのままの状態でお渡ししておりますのでご了承ください。

真夜中に！年末年始に！突然の体調不良・・・そんなときは？

# 8000(こども医療電話相談): 休日・夜間に受診などの判断を迷ったとき、小児科医師・看護師に相談できます。

# 7119(救急安心センター事業): 急なケガや病気で救急車を呼ぶかどうかの判断に迷ったとき、専門家からアドバイスを受けられます。